シネマズライフ

2012年2月3日発行　第9号　http://p.booklog.jp/users/rion-takagi　貴樹諒音（たかぎりおん）

映画の風景　日本の風景

※ 岐阜県・白川郷 ※

昔、『シザーハンズ』という映画があった…こんな映画だ。雪の降るある夜。床についた孫が、おばあさんに質問をします。

「どうして雪が降るの？」

おばあさんは、ずっとずっと昔の思い出を話し始めます。

町の近くの山の上に住む発明家に作られた人造人間のエドワード。最後に手の代わりにつけているはさみを手に付け替えればりっぱな人間です。ところが、発明家は付け替える前に死んでしまい彼はひとりぼっちに。

ある日。化粧品のセールスウーマンをしているべグが山をぼうっとながめていると、訪ねてきたエドワードでした。

エドワードはキムを八サミで傷つけてしまいます。その事で心が傷つき、彼はもう誰も傷つけたくなかった為、山へ帰ってしまいます。

雪は、二度と会えないべグへのエドワードからのプレゼント。おばあさんになったべグは、そう孫に教えるのです。

白川郷に降る雪は、誰が降らしている雪なのだろうか？日本では山に棲もった鬼が好きな少女を思って降らせているのだろうか。そんな事を思ってしまうのです。

雪は愛する人も愛される人も同じにように降るのです。

『シザーハンズ』　1990年 アメリカ映画
監督：ティム・バートン 脚本：主演・ジョニー・デップ ウィノナ ライダー ダイアン・ウィースト キャシー・ベイカー

主演のジョニー・デップはこの映画をきっかけにトップスターに躍り出ました。

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

on air！

『K-20 怪人二十面相・伝』

日本映画専門チャンネル
2008年 日本
監督・脚本：佐藤嗣麻子
出演：金城武 松たか子 國村隼 仲村トオル

2月5日(日) 21:00　2月12日(日) 12:00
2月15日(水) 21:00　2月16日(木) 14:00
2月24日(土) 21:00　3月12日(月) 14:00
2月20日(火) 12:30　3月27日(火) 23:30

1949年・戦争が回避され、まだ、華族制や財閥支配されている日本。豊かな生活をする貴族達に比べ、庶民達は貧しさにあえいでいた。その頃、華族のみを狙う盗賊≪怪人二十面相ー"K-20"≫が現れ、世間の話題になっていた。

サーカスの曲芸師・遠藤平吉は、観客の一人から奇妙な依頼をされる。「羽柴財閥の令嬢・羽柴葉子と名探偵・明智小五郎との結納の儀の写真を密かに撮ってきてほしい」というのだ。多額の報酬につられ平吉は引き受ける事に。当日、綿密な計画に関わらず見つかってしまい、なんと平吉は≪怪人二十面相≫と思われ全国に指名手配されてしまう…。

戦争をしていなかったら…という本当に意外な設定で、レトロ感満載。金城武の怪盗はハマリ役、超お嬢様の松たか子のなりきりぶりも面白く、東京も【帝都】という古都としてのビジュアルも感心させられた。

さて、平吉は汚名を晴らせるのか、乞ご期待！

『ナインスゲート』

ザ・シネマ
1999年 フランス・スペイン
監督：ロマン・ポランスキー
出演：ジョニー・デップ フランク・ランジェラ
レナ・オリン エマニュエル・セニエ

2月10日(金) 11:30　2月10日(金) 21:00
2月12日(日) 16:00　2月16日(木) 06:00
2月16日(木) 14:00

アメリカ・ニューヨーク。貴重本を探す事を生業とするコルソは、貴重本の収集家のバルカンから自分の所有する、世界に三冊しかないという伝説の悪魔祈祷書『影の王国への九つの扉』を他の二冊と比べ真贋を確認してほしいと依頼される。早速、他の持ち主を探すがその頃から彼は命を狙われれるようになり、謎の美女も周辺に現れるようになる。

さて、コルソがヨーロッパに飛び他の二冊と較べてみると、バルカンの本のイラストと少しづつ違う事に気付く。しかもその後、二冊の本の持ち主は悲惨な死に方をし、コルソは戦慄を覚える…。それが、彼の悲劇の始まりだった…。

数奇な運命という事を地でいくような人生を送っているロマン・ポランスキーの人生観が垣間見れる作品。ジョニー・デップが妖しげな古本屋を演じます。

キリスト教が浸透した欧米ならではの映画。しかし、彼の経験する事は日本人でもよく考えれば恐ろしい事だと思うのです。

☆【最近のこれはお見事！】は、見事な映画の題名の紹介します反して、【最近のこれはまずいぞ！】は、「これは、まずいぞ！」と思う映画の題名を紹介します。

☆ネットでも読めるミニコミ誌です！主に映画の紹介とコラムです。よろしかったら、コメントでご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！ m(_ _)m 貴樹諒音

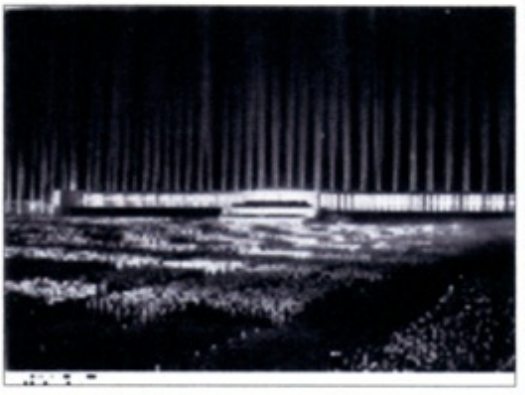
※貴樹諒音※ cinemaz-life@movie.nifty.jp　※告知ブログ※ http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

発行予定は第一・三金曜日　∽次回発行は2012年２月17日です。∽

【最近のこれはまずいぞ！】『電話で抱きしめて』

2000年アメリカ映画。ウォルター・マッソーの遺作。監督はダイアン・キートン。主演がメグ・ライアン。認知症のお話で、なかなか面白そうだがこの意味不明の題名で見る人が少なくなった気がする。

2005年ドイツ 監督 オリヴァー・ヒルシュビー 「ヒトラー最期の12日間」 ブルーノ・ガンツ アレクサンドラ・マリア・ララ



1936年のニュルンベルクでのナチ党党大会

一九四二年十一月、ミュンヘン出身のトラウドゥル・ユンゲは、ヒトラーの個人秘書に抜擢される。ユンゲにとってヒトラーはあこがれの存在だった。

時が過ぎ、一九四五年四月二十日、ヒトラーは戦況の悪化から側近らとともに首相官邸の地下要塞に退去する事を決意する。

連合軍は、ベルリンに迫り、ソ連も砲撃を休む事もなく、ベルリンは焼け野原になっていった。

しかし、ヒトラーは側近の疎開の進めも聞かず、逆に民兵達に戦う事を命じ空虚な逆転劇を語り始める始末。

映画は秘書のユンゲの証言を元に書かれた本で、最後までヒトラーと共に地下要塞に逃れたユンゲが経験した事をリアルに描く。

最後のヒットラーはだたのおじさんにしかすぎないが、一方ユダヤ人虐殺を命じた独裁者でもあるのだ。が・ヒトラーのカリスマ性に魅かれ最後まで生死まで共にする者。権力者としてのヒトラーに見切りをつけ逃げ出す者。ユンゲのように冷静にヒトラーを見る者様々で醜悪ですらある。

しかし、その崩壊の醜さはどの世界にも起こる事でがある事を知らなければならない思うのだ。

Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie Cinema CinemaFilm Movie CinemaFilm Movie Cinema

コラム

《想定外》という魔法の言葉

一九〇二年（明治三五年）東北の八甲田で未曾有の大惨事が勃発した。

【八甲田雪中行軍遭難事件】である。映画『八甲田山』で有名になった事件で、決行されたのは日露戦争が想定されていた時期でもあり、東北の国軍として当然の冬季訓練だったが、悪い事に行軍当日の気温が、北海道旭川市で現在でも記録更新をしていないという最低気温で東北とはいえ、八甲田山でも《想定外》の気温だったに違いない。

映画の原作は新田次郎の『八甲田山死の彷徨』で、映画は原作を踏まえ「危機管理」に対する対処の仕方・リスク・マネジメントやリーダー論に利用される事もあって、「なるほど…」っと思う所もある。

八甲田の雪の回廊
遠くからみると八甲田は美しい山だ。

去年の東日本大震災での原発事故もきっかけは天災だったが、当時のまとめるべき人々が、混乱し最悪の結果を招いたという。この混乱は、今でも存在しており、日本の行く末に不安をもたらしているが、《想定外》という言葉に守られ、誰もまだ責任をとらないでいる。

まだまだ、地震の不安が冷めない今日この頃、《想定外》なる言葉は二度と聞きたくない言葉である。

※編集後記※

←せめて写真だけでも暖かくなってください。

☆ 1月から始まるドラマの視聴率が決まってきた。前年10～12月期は『家政婦のミタ』に牽引されて全体的に視聴率はよかったのだが、今期の視聴率は低調…っというより毎年10～12月期は高視聴率で、人気のあるドラマがあるとそれに釣られるように視聴率が高くなるようだ。今年1月からのドラマも料理とホームドラマの向井理・松下奈緒のNHK勢は振るわず、ミステリーの竹内結子・松本潤と松嶋菜々子勢が優勢なようだ。『家政婦のミタ』も最初はミタの存在がミステリーだったから視聴者も興味をそそられた訳で、今後もますますミステリーじみた主人公が増える事になりそうですね。

【最近のこれはお見事！】『ものすごくうるさくて、ありえないほど近い』

アメリカ映画。原題を直訳すると「とても大きくて信じられないほど近い」になる。う～ん、なぜ「とても大きくて」がなんで「ものすごくうるさくて」になったのか映画を見てみないとわからん…。そういう意味で、人目を引く題名ですね。

シネマズライフーcinemaz-lifeー９号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

著者：貴樹 諒音

メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

《日本映画専門チャンネル》

http://www.nihon-eiga.com/program/detail/nh10003888_0001.html

《ザ・シネマ》

http://www.thecinema.jp/detail/index.php?cinema_id=01487&date=20120204

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。

ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画

rion_takagiのMyムービー

http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFlUaEfCFw6D1cq3gb5A--

※＆ 他にもいろいろやってます。**(^^;)** ※＆

お世話になっているインターネットＴＶ

netchannel KYO

内で番組作ってます。

『カラフルタイムズ』

新タイプの映画紹介とコラムです。

m(_ _)m ダウンロードで鑑賞できます。 **m(_ _)m**

http://www.nc-kyo.com/watchtvprogram_karafuru.html

『オススメ犬映画』

http://www.pet-c.net/column/movie/index.php

犬の映画を紹介してます。

§※§※§※